十二頁　日刊
磐城時報
福島縣石城郡平紺屋町十四町
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平紺屋町十四
印刷所　福島縣石城郡平紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

私設消防發會式で 組員六名檢束さる
比佐代議士等度膽をぬかる きのふ大浦村の騒ぎ

大浦村大字大森部落の消防紛擾に因を發した所謂地ぶくれの大森部落私設消防組は組員十一名が纏つたので十一日發會式をあげる事になつたが、四倉警察署では同私設消防組の態度が公安を害すおそれありとして同日午後水谷署長以下巡査十數名は發會式會場である大浦村大字大森月田寺に出張し嚴重なる監視をなし私設消防組員は之に對峙して早くも不穩の空氣が漲り亘つてゐたが、發會式には代議士比佐昌平、縣會議員野崎滿藏、町會議員萩原義雄三氏を始め民政黨系の面々が演說をなす豫定で現場に至つた處、水谷四倉署長は、發會式は集會と見るべきであるに拘はらず集會屆が出てゐないのと、治安を害するものと認めて再三注意を發したが、主催者は之に應ぜず而も反抗的態度を示したので、斷然集會を禁じ群集の解散を命じた。是に於て野崎滿藏氏は、集會が許されぬとしたら協議會を許して貰ひ度いと交渉し押問答を續けてゐる間群集は遂に不穩の行動に出づるに至つたので、警官は遂に私設消防組員、片寄甚之助（三五）古市文太郎（三二八）吉田久之助（五一）坂本幸之助（五〇）古市安雄（二七）猪狩彌平（四〇）の六名を檢束した。この檢束騒ぎで呆氣にとられた代議士比佐昌平氏等は遂に月田寺の裏にかくれて姿を見せず一同そのまゝ解散したが、四倉署では檢束者を嚴重取調中である。

平銀改稱
二月上旬か

常磐銀行と合併契約を結んだ平銀行には常磐から將來支店長なる行員が平銀行に出張して行員の執務を監督し、取引の內容を研究してゐるが、平銀が常磐銀行平支店の名稱に變更されるのは二月上旬と見られてゐる、これは株式の提供期間が本月末日までなので之が終了と同時に法規上の合併並に名義變更の手續きをなし、更に主務の認可を必要とするのでどうしても二月上旬にならねば支店の名稱にならないものと見られてゐる。

本年から 範圍擴大
平の少年職業紹介所

平職業紹介所では毎年小學校卒業期に郡內各小學校と連絡をとり適材を適所に配すやう紹介の勞をとつてゐたが、本年からは範圍を廣め相馬郡、双葉郡及び田村郡の小學校と連絡をとり少年少女の職業紹介をなす事になつた。

工費一萬余圓で 職業紹介所新築
無料宿泊所其他も併置 明年度豫算に計上

平町立職業紹介所は現在平町役場に隣接して借家住居をして居ためにこれ迄具体化さずに居たのであるが、然し明年度に於ては役場廳舍も新築されるので、之を好機に紹介所も新築する事に町當局の意見も一致して居るので近く明年度豫算案に計上審議されると見られてゐる、此の新築は工費一萬二三千圓の豫算で此の半額は國庫補助があるので結局町費は六七千圓支出すればよい事になる、工事は役場廳舍新築竣工後着手する事になる豫定であるが新設紹介所の工事計劃によると理想的の建築物として所內に無料宿泊所其の他の新設備を施す由であると。

運轉手二名 營業を停止さる
追越し常習

▲湯本町三函鈴木自動車部運轉手三浦安次郎（二九）は去月二十三日午後三時半頃內郷村大字綴に於て佐藤三平所有自動車第六四七號運轉手鈴木誠一の車を追越さうとして追突し車体を破損せしめた上乘客一名に重傷させたため

▲平町二丁目尼子自動車部運轉手秋元友一（二二）は去月十四日午前十一時頃內郷村大字御厩に於て鈴木自動車部の第五一號自動車運轉手中崎兼次郎の車を追越さうとして追突し五一號車体を破損したので兩名共向ふ六ケ月間營業を停止された。

磐城實業總會

平町磐城實業銀行では來る二十八日定期株主總會を開き昭和三年度下半期營業報告について株主の承認を求める筈である。

理髮組合役員

去る十日平町に開催した平警察署內理髮業組合總會で役員改選の結果左の如し。

▲組合長石崎幸一、副組合長片寄晴充、本田强、塚本キヨ

▲縣聯合會代議員　石崎幸一、比佐信太郎、片寄晴充、野崎德太郎、鈴木伊太郎、安齋寅治、塚本キヨ、柳內シゲ

一人を跳ねとばし 自動車水田に轉落
小名濱街道の椿事

石城郡小名濱町本町長瀨貨物自動車商會所有第七八五號トラックを群馬縣生れ高瀨勉（二五）が運轉十一日午前十一時頃石城郡磐崎村大字下船生宮下地內を疾走中前方を通行中の住所不定山形縣生れ岡野倉藏（四三）が同自動車を避けんとしたのを高瀨は運轉を誤り同人をはね飛ばし更に一方の小名濱米野坂本昇（二三）をもはね飛ばし急停車したが、その反動で自動車は附近の田圃に轉覆し前記兩名に重傷を負はせたので直に湯本町入山病院に收容したが、一命は取止めるらしいがなか〳〵の重態である、高瀨は平署で取調べを受けてゐる。

磐城炭礦の 健康保險

磐城炭礦の健康保險組合は去る大正十五年一月創立當時は本縣及び茨城縣下にわたり一萬五百余人の組合員を有してゐたが會社側では不況對策として極力整理を行ひ坑夫の新規募集を手控へた結果昨年末には組合員數も職員四七四名、發電係一四七名、運轉係五五六名、製作係一六九名、綴坑四四四名、配給勞務係二七九名、建築八二名、三谷坑四五六名、高坂坑一三六名、町田坑一〇三三名、小野田坑一〇一二名（以上本縣內）千代田坑一三〇名、重內坑一〇六名合計八千四百六十一名で僅々二ケ年內に二千名の激減を示すに至つた、右は勞動運動に關係ある者を淘汰し且つ常傭人夫を廢し臨時夫一千名近く採用したゝめで組合の財政も勞働爭議の當時疾病休業者續出し組合は八萬五千圓の缺損を來したが昨年來極めて成績よく三、四兩年度に償還の豫定が毎月六七千圓づゝ償却し得るので來る二月中には全部完濟の運びとなり四年度豫算編成に際しては現在賃銀一圓に對し九錢（會社負擔六錢五厘從業員二錢五厘）の組合費を徵收してゐるものを一錢値下げを行ひ且保健衛生設備として河水をそのまゝ飲用してゐる水道に濾過池を設けることになつた。

注意されたのに憤慨し 女郎の腕を折る

高久村大字下高久字川和久生當三）が「あまり飲まぬ方が好いでせう」と注意したのを生意氣だと憤慨し力彌の頬を數回毆打した上左手を捻ちあげ腕を折つた騒ぎに平署から刑事が出張處直を取押え調べ中である。被害者は金成病院で加療中であるが全治三週間の重傷である。

▲平町出生死亡

平町における昭和三年中の出生、死亡統計によれば出生五百十六人で一日平均一人一分の割合となり死亡は二百八十名一日平均約八分前年に比し出生三十九人、死亡二十三人の各增でこれを男女別にすれば出生男二百七十二名、女二百四十四名、死亡男百五十一、女百二十九名と云ふ割合である。

ハガキ集
（投書歡迎）

▲郵便局のS子さんへ、昨晩は失禮いたしました。お手紙を差しあげたいが住所が判りませんので紙上を借ります。あの時刻に南の方の通りを、あの時刻に南の方においで下さい。（タの字）

▲紺屋町の××の娘と言へば、男から男と渡り鳥の樣に飛び廻つてゐるが、最近また東京の男を投げ飛ばしたそうだ、××さんよ、よい刻限に身を堅めないと、男の思ひで取り殺されるぞよ。（注意生）

▲十一日大浦村私設消防發會式で水谷署長が發會式を許さぬのに憤慨した野崎滿藏君「俺は縣會議員だ」と突込むと水谷署長「百も承知だが、許すわけにはいかん」

役にたつ生活と値打のある生活

四倉校 江戸川生

四、價値人と有用人

かゝる眞理を經濟學は明らかに說明してゐる。有益即ち有用なものといふのは其のもの自身が人の慾望を滿足させる力、即ち努力を有することをいふのである。

價値あるものといふのは社會がそのものゝ効力を認識する程度をいふのである。即ち人が主くわん的にそのものを尊重する程度の多少が價値を決定する。

水や空氣はその効力無限大であるが普通の場合では人の慾望を滿足して、猶あまりある程度に澤山に存在してゐるから社會はその必要を認めない。したがつて効力は無限大でも價値はないのである。これに反してダイヤモンドは効力は僅かであるがそれを見えだして製造するに多大の勞力を要し、その存在量がすくない上に、購買力の强い富者がそれを要求する程度が大であるから價値は大になるのである。

人間もそれと同樣で、どんなに有益な人でも社會のたれもかれもが皆有益な人であるならば、その人たちの價値は少しもないのである。勿論、効力の全然ない人は價値はないけれどもすこしでも效力のあるものならば、その價値の大小はその存在量の大小によつて決定する、否決定される、結局、そのものゝ質が有益であるといふことにより、その存在量の多少が價値を決定する必要條件なのである。

最新式寫眞場
昨年中に完成
平町南町(電話六一五番)
岡山寫眞館

内臟外科專
骨關節外科專
整形外科門
藤本順

產婦人科院
外科長
木村寅次郎
產婦人科
木村醫院
平町新川町(電話一六四)

耳鼻咽喉科專門
平町仲田町七一
新築移轉場所
合津醫院
電話五九五番

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
滋養強壮第一
スポン飴
本舗 大阪東區谷町壹番 檜尾長命堂
各菓舗食料品店にあり
スポンヘモクロビン錠 定價三圓
スポン酒 定價二圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

滋養、强壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の根原、晚の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電六四二)

防寒具の御用意は!!!
トンビ 九・〇〇ヨリ
オーバ 七・〇〇ヨリ
モチリ 四・五〇ヨリ
其他各種豐富着荷
なかや洋服店
平町二丁目(電二〇三)

セキの藥 祐痰 鎭咳液
特約店
關內藥局
平町四丁目 電話四〇番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店
西村屋藥舗
平町二丁目
電話三番

磐城病院改稱
市原病院
平町田町(電話一一四番)
內科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
花柳病科 市原三三男

三益玉炭のお奬め
◎無煙無臭デ火付ガ早ク、火持チ良ク、火力ガ强ク、日常ノにやきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン。
◎ソレデ値段ハ大變オ安ク、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス。
◎ドンナニ喰はずきらいノ人デモ一度使ヘバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス。
◎値段ハ壹箱金貳圓個數ハ約八百個內外
◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ
平驛前
電話二三七
阿部石炭商店

旋風捲き起る巨篇の續映
▲マキノプロダクション超特作映畫 總指揮マキノ省三 監督押本七之助 市川米十郎主演
捕物奇譚 おきて 全七卷
荒木忍、岡島艷子、マキノ潔、五味國男 共演
▲ユーナイテツトアーチス會社超特作 パツダキートン主演 アリアンマツク孃助演
キートン將軍
▲帝國キネマ御大典記念特作映畫 明石綠郎主演 尾上紋十郎、片岡黃十郎、松枝鶴子助演
國士 高山彦九郎 全十五卷
琵琶 大原錦陵師 特別出演
十一日替リ 土日曜學生デー
料金特に普通 帝キネマキノ有聲座

外科專門
平町南町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

外科專門
診療科目 外科 內科 花柳病科 一般外科
藏
▲診療時間 午前八時より午後九時まで 但し急患は此の限にあらず
平町田町大通り(電話四三六番)
入院隨意
安齋外科醫院